資料３－２

岡山フルーツ農園の取り組み

～目的用途別果樹栽培で農地と経営を守る～

株式会社　岡山フルーツ農園
代表取締役　高原弘雅

	会社沿革
昭和57年	岡山市東区西大寺の非農家にて生まれる
平成18年	岡山大学農学部卒業後、研修なし・新規就農制度を受けず就農！！ 品目ブドウ（農地は東区草ヶ部）
平成22年	**株式会社　岡山フルーツ農園設立** 品目にイチゴが加わる（農地は東区西大寺）
平成24年	観光いちご園オープン
平成28年	**農産物直売所　とれたて岡山産直マルシェオープン** 観光ぶどう園オープン
令和元年	いちご・ぶどう兼用パックセンター稼働
令和5年	**古民家カフェHanareオープン**

経営概況

- ぶどう約6ha～7ha（拡大中）
- いちご0.5ha（生果生産）0.7ha（苗場）
- 路地野菜約0.5ha
- 直売所運営
- 古民家カフェ運営

従業員数：正社員7名、パート・アルバイト30名

施設外就労作業委託約20名（A型事業所から）

企業説明

株式会社　岡山フルーツ農園

イチゴ農場

ぶどう農場

農産物直売所

とれたて岡山産直マルシェ

古民家カフェ＆cafe

Hanare

経営理念

Harefuru　Kefuru

ハレフル　　ケフル

食卓にいつも果物を
果物で子供たちに笑顔を

1. おいしさ・安全性・食べやすさ・買いやすさ
2. 見せる農業・体験する農業
3. 自社スタッフ・協力農家の育成・営農支援

栽培哲学

自然の摂理に抗わない

よりナチュラルに
あるものを活かす

1. 有機物を中心とした土づくり
2. 圃場内生態系の配慮
3. 人にやさしい栽培体系

地域と農業の未来につながる
絵になる風景をつくる

西大寺いちご王国

重要ポイント 「体験と交流」で五感を刺激する農園

暮らし(消費する場)と生産する場(農業)が離れている昨今、五感を刺激し、農業を身近に感じてもらうことが、岡山フルーツ農園のファンを作ることにつながります。

いちごだけでなく、ぶどうなど、一年を通して果物の成長を身近に感じることや、「育てる体験」「収穫の喜び」「気軽に味わうこと」ができ、全身で香りを感じる場はここ"いちご王国"でしか体験できません。

重要ポイント 余白となる中庭ゾーン

子どもが裸足で遊び、思わず寝転びたくなる"だいかんどら"を敷き詰めた場所は、人が回遊し、集まり、留まり、安らぐ場所。

(参考)
稲江いちご農園の
太陽のマルシェ

重要ポイント 回遊グリーンベルト

各ゾーンとゾーンを
自由に回遊しながら大人も
子どもも楽しめる仕掛けづくり。

岡山フルーツ王国構想（3年後）

LanD,lab

加工

販売（外販・通販）

岡山フルーツ農園

重要ポイント 特徴のある、安全な農作物の安定供給と、栽培方法の確立

栽培・管理・指導
農業用地斡旋
アフターフォロー

重要ポイント 継続的な新規就農者の育成

上道ぶどう王国

稼ぐ農業のシンボル

ぶどう団地の形成

生産

西大寺いちご王国

見せる農業のシンボル

いちご団地の形成

販売（直売所） 生産 体験

農業体験・地域交流・親子で楽しめる農業公園（いちご狩り・ぶどう狩り）

岡山一宮の白桃チーム
白桃の惑星

販売応援

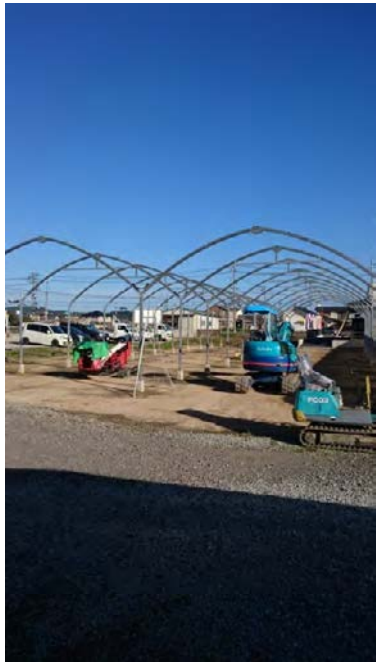
事業まとめ

新規就農者対策

・研修受け入れ（正社員として）
・農地の確保
・栽培ノウハウの伝授
・独立後の全量買い取り
・営農指導
・経営サポート

お客様との接点

・農産物直売所の運営
・パン製造事業
・カフェ関連事業
・観光農園
いちご狩り
シャインマスカット狩り

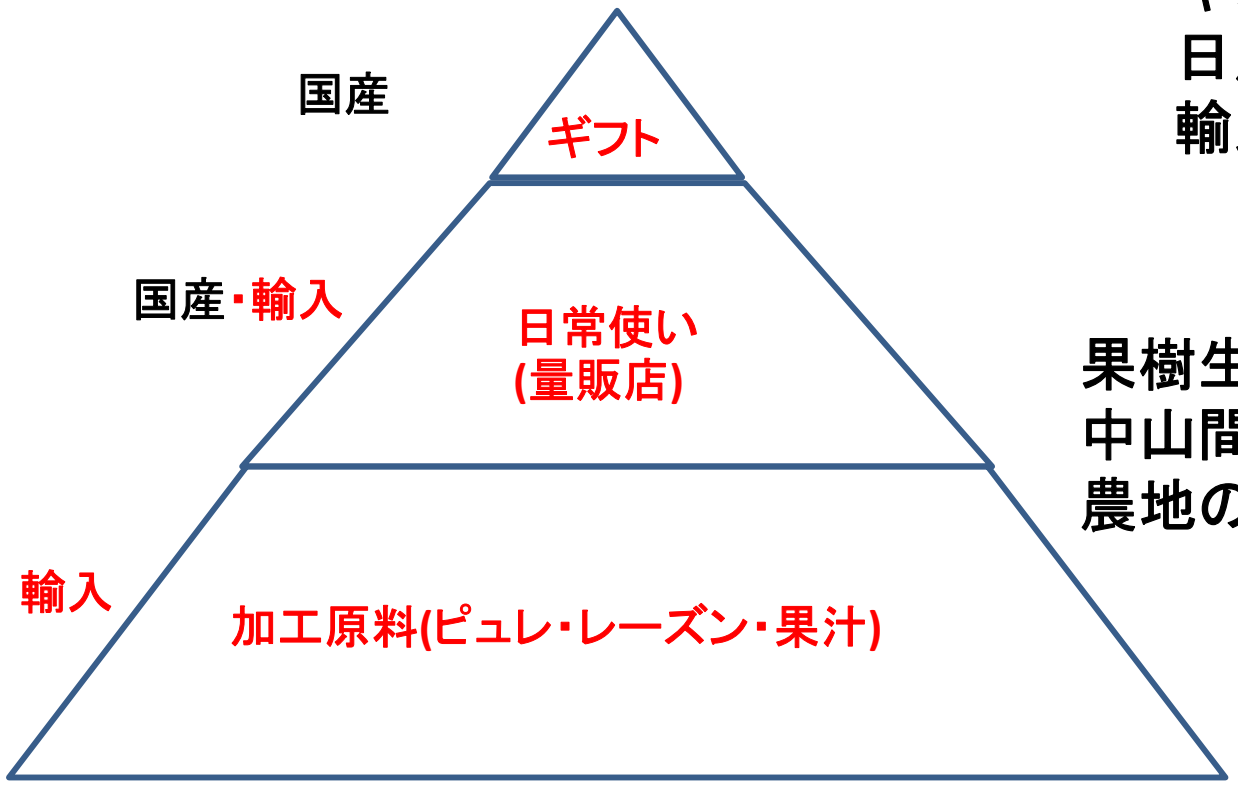


地域内での取り組み

・いちご・ぶどうパックセンターの運営
・地元スーパーとの農産物卸販売
・敷島堂いちご大福用圃場管理
・いちご加工原料確保→加工業者へ
・白桃加工原料確保→加工業者へ
・障害者雇用→近隣農家さんへ作業委託

岡山フルーツ農園の
ぶどう農場

岡山フルぶどう戦略



国産の生産量は減少し、
ギフト用生産に集中。
日用使い・加工原料は、
輸入果物が増えている。

果樹生産に適しているはずの、
中山間地（傾斜地）を中心に
農地の維持管理に追われている

中山間地の農地を少人数で、広範囲に活用し（土地利用型果樹経営）、
日常使い・加工原料を生産できれば、
農地の活用と国産果実自給率向上に貢献するはず！

岡フルぶどう栽培の特徴

１、商品に合わせた栽培体系

〇高級ギフト～加工用(目的用途)に応じて圃場管理
〇長梢栽培、短梢栽培各特性を生かした栽培。
〇無摘粒による省人化
〇出口（商品）から入口(栽培方法)を考える、マーケットに応じた栽培方法の開発

２、土地改良による大規模園地化

〇水田に傾斜をつけ、隣地とつなげることで大区画化
〇緩傾斜地による水はけ向上、品質向上（中山間地の新たな農地有効利用）

３、自力施工と低価格ハウスの開発

〇耐久性、作業性、低コストを兼ね備えたブドウ棚・ハウスの開発
〇農閑期に集中施工により、計画的設備投資とグループ内施工教育の循環
〇農地拡張時のハウスドッキング施工

ギフト・生食（基本） 粒を大きくして房型もきれいに作る方法		お手軽生食 粒をあまり大きくせず、食味重視に作る方法		
短梢栽培	作業時間10aあたり		長梢栽培	作業時間10aあたり
①芽かき（1回目）	5			
②芽かき（2回目）	5	②	1 芽かき（花なし延長枝まで切り戻し）	5
③（前処理）	5			
④花落とし	10	④	2 花落とし	10
⑤~~軸伸ばし処理（ジベ3～5ppm）~~	~~1~~			
⑥ストレプトマイシン処理	2	⑥	3 ストマイ処理	2
⑦花すごき	10	⑦	4 花すごき（花きりまで）	50
⑧誘引①（枝出し）	15			
⑨摘芯	15			
⑩誘引②（枝だし）	10			
⑪（花きり）	50			
⑫ジベ一回目	10	⑫	5 ジベ一回目	15
⑬摘房	5	⑬	6 摘房	5
⑭肩決め	10			
⑮副梢管理	10			
⑯間引き	80	⑯	7 間引き	40
⑰ジベ二回目	5	⑰	8 ジベ二回目	5
⑱仕上げ間引き	30	⑱	9 仕上げ間引き	20
⑲袋かけ	10	⑲	10 袋かけ	10
⑳副梢管理	10			
合計作業時間	298			162

見た目が変わるだけで約半分の時間に！

さらに加工用と比較すると・・・。

ギフト・生食(基本)

粒を大きくして房型もきれいに作る方法

短梢栽培	作業時間10a あたり
①芽かき(1回目)	5
②芽かき(2回目)	5
③(前処理)	5
④花落とし	10
⑤~~軸伸ばし処理(ジベ3～5ppm)~~	~~1~~
⑥ストレプトマイシン処理	2
⑦花すごき	10
⑧誘引①(枝出し)	15
⑨摘芯	15
⑩誘引②(枝だし)	10
⑪(花きり)	50
⑫ジベ一回目	10
⑬摘房	5
⑭肩決め	10
⑮副梢管理	10
⑯間引き	80
⑰ジベ二回目	5
⑱仕上げ間引き	30
⑲袋かけ	10
⑳副梢管理	10
合計作業時間	298

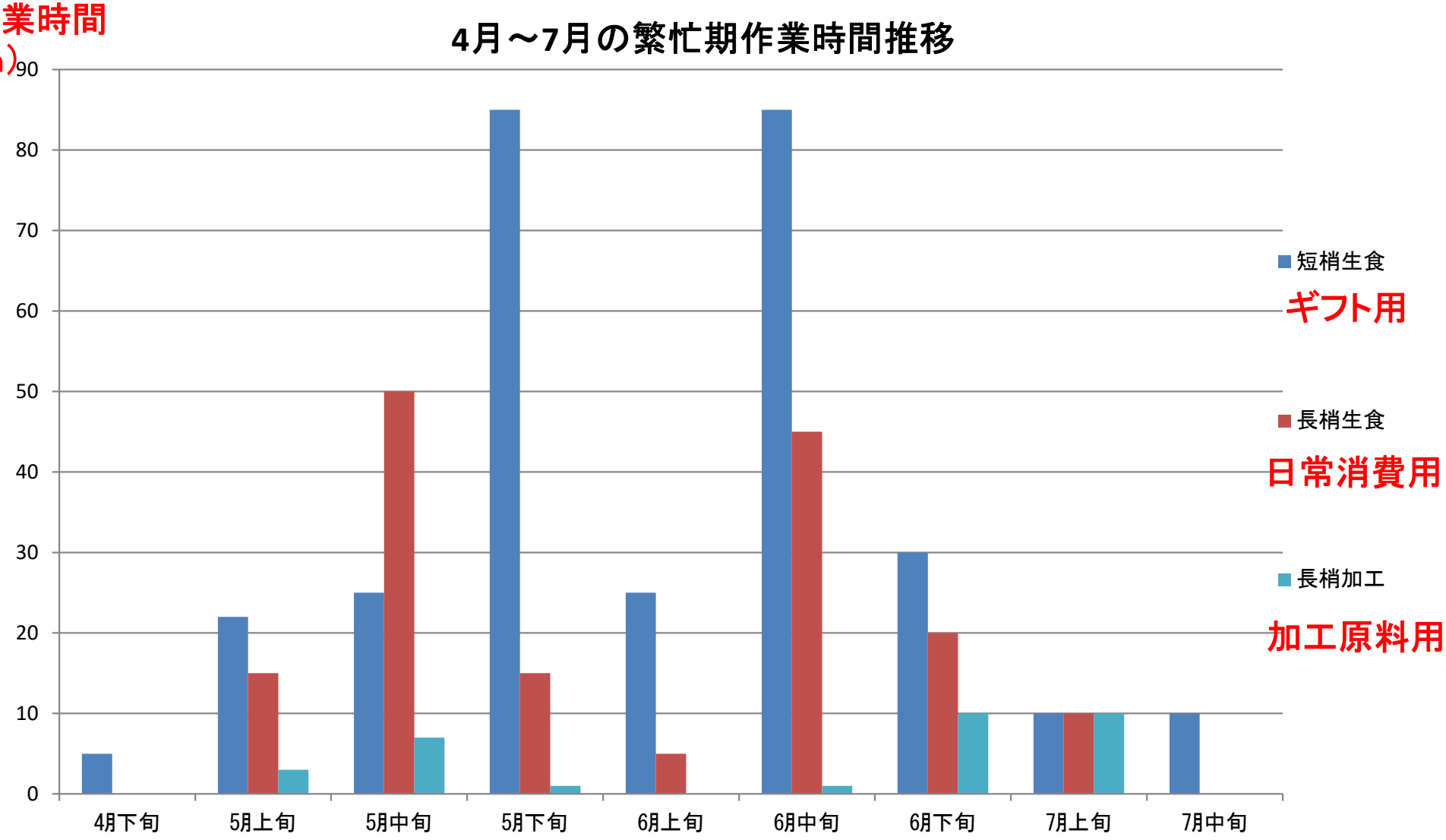
ピュレ・レーズン用タイプ

加工目的に合わせた栽培方法

	長梢栽培	作業時間10aあたり
②	1 芽かき(花なし延長枝まで切り戻し)	3
④	2 花落とし	5
⑥	3 ストマイ処理	2
⑫	4 ジベ一回目	1
⑰	5 ジベ二回目	1
⑱	6 仕上げ(袋に入る程度)	10
⑲	7 袋かけ	10
		32

約1／10の作業時間に！？

作業時間
（h）



繁忙期がかなり省力になる

目的用途	ギフト用（298時間）	日常消費用（162時間）	加工レーズン原料用（32時間）
収穫始め	９月１日	８月20日	８月10日
特徴	大粒	中粒・糖度高め	小粒・激甘・パルプ質

日常消費用（162時間）

省力でも収穫量が少なくなるわけではない。3.5t／10a

省力であっても変わらないもの

- 収量
- 施肥量
- 資材（むしろ減る）
- 農薬（むしろ減る？）

人件費で20万／10a以上の削減。
更に、繁忙期の削減であるため、面積拡大が可能に！

大区画化へ造成

段々の田畑をつなげれば、広大な緩斜面に！
10枚を繋げて約70a（水路は埋め込み、最大傾斜9度程度に）

地域に広い田畑はない！
と言い切る農業者は、未だ水田の呪縛の中に・・・。
水はけ最高で、高品質果樹生産適地へ変身。

岡山フル流　施設対策
基本的な考え方

例えばこの状態で、台風が来たらどうなる？

A、施設には何も被害が及ばない！！

ハウスの強靭対策に比例して建設コストも上がる
資材自体が高騰しているのにどうするが・・・。

そもそも、ハウスの強度とは何か？何に対しての強度か？→フィルムをかけた状態で強風を受ける際に耐えられる強度

施設強度限界を超えた強風がふいた場合は、フィルムが飛ぶ設計を考案。

結果、基礎柱も少なくでき、アーチピッチを80センチに広げ、コスト等が既存施設の半分以下に削減できるようになった。

岡フル式格安ハウス

早い！（工期が短い）
安い！（既存の半額以下？）
強い！（強度が必要ない？）
作業性抜群！

材料（10a）赤字は棚栽培のみ必要

- 単管5m8本
- 単管4m300本
- （単管3m40本）
- ボンジョイント180個
- アーチ300本
- 直交クランプ250個
- （自在クランプ100個）
- 48×25クロスワン600個
- 直管パイプ50本
- 25×25クロスワン300個
- ビニエース6m80本

材料点数が少なく誰でも建てられる！？

杭打ち

基礎なし打ち込み工法

1メートル以上の打ち込みで、沈下、浮き上がりはありません※

※強度に対する考え方参照

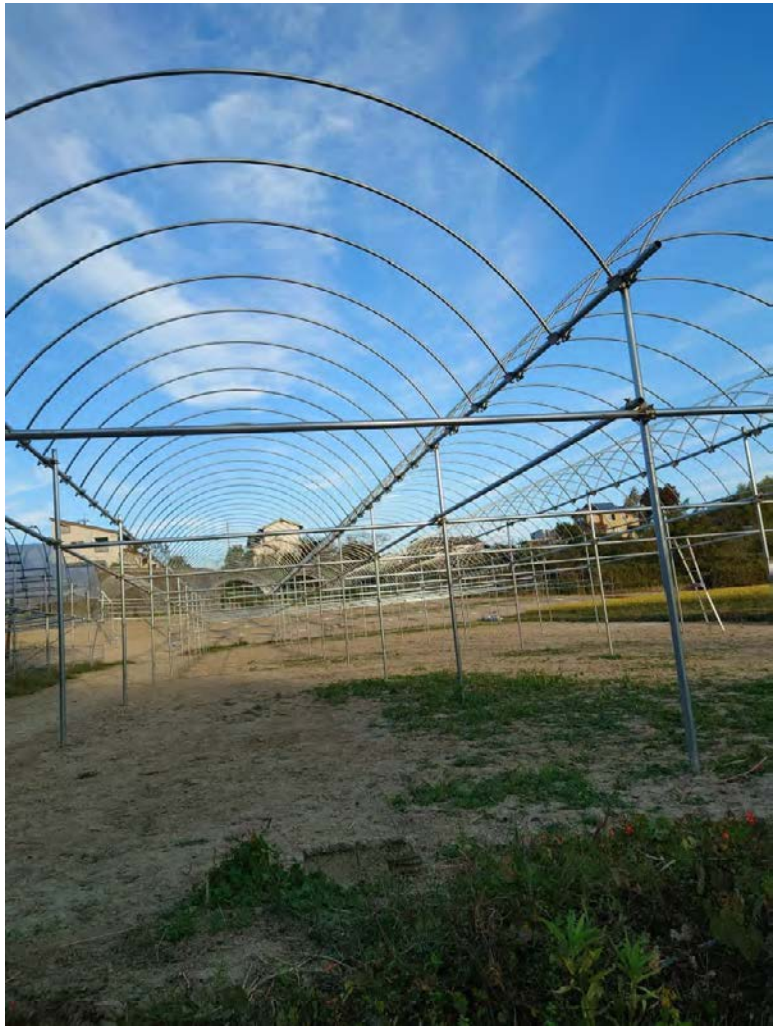
打ち込みの深さで傾斜も取れ、樋の排水もスムーズ！（打ち込めない場合は、先端を切るだけ）

基礎のコンクリートがないので、柱ギリギリまで機械を傷つけず（常用モア等）作業できる。

1日で補助員と二人で10a80本は簡単に打ち込める！

組み立て

柱に縦・横を通した後、アーチ受けの単管を取り付け→アーチを取り付け



仕上げ・フィルム張り

柱間が4m×4m、樋高3m、天井4m

樋は、単管に上を歩けるので、厚手のフィルムで十分！？

このハウスの優位性（構造）

新規に借り受けた畑　　既存の棚・ハウス

- 棚面の高さが自由自在
- 柱ピッチ4m四角で柱数少ない
- 隣の園地と棚をつなげることができるドッキング工法
- 部品点数が少ない
- 接続部品が安い

このハウスの優位性（構造）

柱間が4m×4mで作業性が良い。
樋高3m、天井4mで夏涼しい。

←←傾斜地でも建てられる！

イチゴのハウスにも、もちろん使います！→

このハウスの優位性（作業性）

マニアスプレッダー1.8t

- 堆肥散布は1.8tマニアスプレッダーで散布
- プラソイラーで部分深耕や排水性改善
- 剪定枝は常用モアで高速粉砕
- 追肥・微量要素散布はコンポキャスターで散布
- 圃場内乗り入れによる収穫物運搬作業

↓

土地利用型農業で
利用する機械の導入

＋

目的用途別作業体系で少人化

＝

土地利用型果樹経営が可能に！

収穫運搬車

プラソイラー

中山間地は果樹で攻めるべき！

中山間地では耕作放棄地急増！

↓

土地利用型果樹経営の確立

↓

Harefuru　Kefuru

ハレフル　　ケフル

国産果実で、
日常的に果物を食べられる食生活の提案できる時代へ